

第28回

# 日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2013年12月

## 目次

---

### 第1会場

1. 北海道における長期滞在観光市場を概観する 1  
    畠田 展行
2. 観光客セグメンテーションから考える静岡市観光の現状 5  
    —東京都23区居住者に対するアンケートの分析結果からの視点—  
    崔 瑛・松本 元邦・野毛 満理・角田 瑛里奈
3. デスティネーション・マーケティングの特性と課題 9  
    —マーケティングの主体としてのDMO—  
    高橋 一夫
4. 我が国における免税店の現状と課題に関する研究 13  
    —消費税高税率化を控えて—  
    河本 光弘
5. LCCが観光振興に果たした役割 17  
    中鉢 令兒・郭 倩
6. 外国人街における観光地化 21  
    —群馬県大泉町を事例として—  
    丸山 奈穂
7. ハラル・フード・ビジネスの制度設計とASEAN諸国からの 25  
    インバウンドに関する考察  
    杉山 維彦
8. ムスリム観光客誘致についての一考察 29  
    —マレーシアからのムスリム観光客誘致のための調査—  
    林 良隆
9. 訪日教育旅行振興のための直接異文化接触と 33  
    異文化受容態度との相関分析  
    —日本、中国の高校生の比較—  
    許 文彬・野瀬 元子

10. 日韓の国際観光政策の比較考察 —日韓の政府、地域のインバウンド政策の比較考察をもとに— 新井 直樹	37
11. 国際スポーツ観光としてのプロ野球春季キャンプに関する研究 朴 在徳・徐 承錫	41
12. リスクと計画的行動理論 —日本インバウンド観光— 李 根熙・李 載錫	45
13. 学生による地域振興プロジェクト —外国人観光客向け字幕付き動画— 井上 裕子	49
14. 訪日外国人観光客の動向と展望 —大分県別府市を事例として— 池口 功晃	53
15. メディアを利用した訪日観光プロモーション —タイ市場の状況の考察— 辻 のぞみ	57
16. カニツアーを利用したパーキンソン病の人のリハビリテーション 赤松 智子	61

## 第2会場

17. 観光地域づくりを教材とした学校教育の可能性 —三重県鳥羽市菅島の鳥っ子ガイドを事例に— 西村 千尋・海津 ゆりえ	65
18. 「マネジメント」をキーワードとした領域学としての 大学観光教育の体系化に関する検討 田中 伸彦	69
19. 観光教育のための文学研究について 舩谷 鋭	73
20. 観光教育の必要性についての—考察— —高校生による観光コンテストの実践を中心として— 和田 早代	77
21. 学習型観光の分類と体験プログラムの特性 —企業が造成する体験プログラムを例に— 宍戸 学	81
22. 農家レストランにおける場所感とツーリズム 尾家 建生	85

23. まちなかバルのフードツーリズム要素に関する調査研究 —関西のまちなかバルの実態調査から— 高田 剛司	89
24. イタリアにおける現代のガストロノミーの概念について —エノガストロミックツーリズムとスローフードの関連性— 玉置 桃子	93
25. 水産物のフードイベントによる観光プロモーションの研究 山川 雅行	97
26. B級ご当地グルメのブランド戦略 —三重県亀山市の「亀山みそ焼きうどん」の事例を中心に— 村上 喜郁	101
27. 市町村合併がもたらす観光地経営への課題 井上 晶子・安島 博幸	105
28. 本土と離島の関係性を前提とした観光政策に関する研究 —三重県鳥羽市答志島を事例として— 海津 ゆりえ・森重 昌之	109
29. 地域鉄道沿線における広域観光の取組みに関する研究 高橋 進・十代田 朗・津々見 崇	113
30. 広域連携による一体的なサイン整備を可能とする仕組みに関する考察 —長野県木曾地域を事例として— 福永 香織	117
31. 観光における制度の役割 —旅行業を事例に— 山本 真嗣	121

### 第3会場

32. 観光地のレジリエンシー向上に向けた事業継続計画 (BCP) に関する研究 —Phase 1— 朝倉 はるみ	125
33. 戦争の記憶とツーリズム —個別の経験と関連性— 永井 孝充	129
34. 震災をテーマにした観光 —阪神淡路大震災からの検討— フंक カロリン	133

35. インドネシアにおける津波観光 —津波の解釈とアチェ社会— 齋藤 千恵	137
36. 観光史における“福島第一原発観光地化計画”の意義 —ダークツーリズムのあらたなる価値— 井出 明	141
37. 台湾の阿里山地域における観光振興に関する研究 —日本人観光客を中心として— 黄 維健・河本 光弘	145
38. ギリシャ・スキアトス島の観光開発の変遷と現状に関する研究 江口 久美・岡村 祐	149
39. ヒマラヤ観光と資源管理 —観光政策と住民意識の齟齬— 辰己 佳寿子	153
40. 上海田子坊観光エリアの形成 蔣 旻潔	157
41. 外国人案内業者に関する新たな知見について —ガイドの画像と外国人の記述から— 上田 卓爾	161
42. 昭和初期の中禅寺湖畔における別荘生活の実態分析 —昭和5年口取帳を通じて— 野瀬 元子・手嶋 潤一・小島 喜美男・古屋 秀樹	165
43. 温泉地の立地と集客力に関する一考察 味水 佑毅・鎌田 裕美	169
44. 戦後の新聞記事にみる温泉地のイメージの変遷 内田 彩・安島 博幸	173
45. 手賀沼ディズニーランド開発計画はなぜ失敗したのか —戦後とポスト戦後の狭間で— 田口 了麻・高田 正哉	177
46. 日本旅館の発展過程における接遇形態の研究 大久保 あかね	181

#### 第4会場

47. イベント対応交通需要マネジメントの観光まちづくりへの展開 —伊勢神宮式年遷宮 TDM を例として— 西井 和夫・江守 昌弘・横山 憲	185
--	-----

48. 聖地と地域文化の創出にみる観光・信仰 —高野山「ろうそく祭り」を中心として— 池田 一城	189
49. 昭和の正遷宮と出雲観光 工藤 泰子	193
50. 都市祭礼と観光行政 —時代祭に着目して— 伊藤 節子	197
51. 近世築鴨にみる「空間の種類」の結合 —まちの見方と風土についての研究— 小長谷 悠紀	201
52. 周縁都市における偉人観光の意義と実際 —金子みすゞと山口県長門市を事例として— 友原 嘉彦	205
53. 北海道の観光地イメージの系譜について 朝倉 俊一	209
54. 日欧の都市圏近郊における芸術家村の形成と発展 海津 紀子	213
55. 観光地回生に関する研究Ⅱ 柿島 あかね・山田 雄一・菅野 正洋	217
56. 地域の文化資本から見た観光地の価値の古典化について 安島 博幸・古本 泰之	221
57. 被災地ツーリズムの新たな可能性を探る —福島県いわき市での取り組み紹介— 石塚 裕子	225
58. 種差海岸来訪者の意識にみる三陸復興国立公園への期待と 自然保護上の課題 坂 拓弥・山本 清龍	229
59. 東日本大震災後の宮城県石巻圏における来訪者向け教育プログラムの開発 丸岡 泰	233
60. 別府市の観光まちづくりにおける協働の仕組みと課題 堀 桂子	237
61. 長期滞在型観光とアーティスト・イン・レジデンスに関する考察 —有田の事例から— 千葉 千枝子	241
62. 地域の担い手の育成とその可能性 —「高知県」および「いなかパイプ」を事例として— 小沢 道紀・宮城 博文・藤田 聡・大友 智	245

## 第5会場

63. 地域特性を生かしたグリーンツーリズム運営の考察  
—福岡県東峰村の事例から— 249  
木沢 誠名
64. ツアーガイドの認証制度について 253  
—富山の現状をふまえて—  
斎藤 敏子
65. 世界遺産富士山における協力金問題と登山者の意識 257  
山本 清龍・トマス E ジョーンズ・林 宇一・荒牧 重雄
66. 持続可能性指標導入に向けた国内観光地における指標設定の現状と課題 261  
中島 泰・清水 雄一
67. 中間システムの連携による本土と離島の観光の相互発展 265  
—三重県鳥羽市・答志島と長崎県佐世保市・黒島の事例から—  
森重 昌之・敷田 麻実・海津 ゆりえ・西村 千尋
68. フットパスを活用した地域観光振興の展開過程と多様性に関する研究 269  
久保 由加里
69. 産業観光の形態と産業特性の関連性について 273  
—清酒産業と焼酎産業の比較からの考察—  
西村 泰長
70. 地域還元を創出する着地型観光の可能性 277  
—長崎県佐世保市黒島の着地型ツアーの事例分析—  
敷田 麻実・西村 千尋
71. “教育で地域を興し、文化で産業を興す” 沖縄発感動創造型観光の挑戦 281  
—タオファクトリーの活動事例から—  
小畑 博正
72. 観光地とその周辺エリアにおける観光者のまなざしの対象の抽出と比較 285  
—川越一番街と駅からの通過エリアを対象として—  
田中 昂助・直井 岳人・相 尚寿
73. MMV におけるレクリエーション研究の動向 289  
—2002年から2012年—  
青木 陽二
74. 二次的自然の観光資源化の再考 293  
—SATOYAMAのグローバル化を踏まえて—  
堂下 恵
75. 日本人と外国人富士登山者の登山前の準備及び行動における比較研究 297  
トマス E ジョーンズ・山本 清龍・林 宇一・荒牧 重雄
76. 農村集落における食文化継承と観光との関連及び継承要因に関する考察 301  
古賀 学・三浦 知子・春日 俊雄

77. 「結」が紡ぐ観光地域の持続可能性から新たな観光のあり方を考える 305  
 一五箇山合掌造りを事例として一  
 九里 徳泰・田開 寛太郎
78. 移住者支援に向けた主体間連携に関する一考察 309  
 一長野県を事例として一  
 中村 賢佑・十代田 朗・津々見 崇

## 第6会場

79. 香川県直島にみる SNS 書込内容の分析に基づく観光者の類型化 313  
 金 徳謙
80. 旅行系 SNS の投稿分析による公園の特徴に関する考察 317  
 泉澤 圭亮・梅村 匡史
81. 大河ドラマ「龍馬伝」効果と観光形態に関する一考察 321  
 深見 聡
82. 観光パンフレットにおける観光景観画像の特徴に関する研究 325  
 一長崎市の長崎さるくを対象として一  
 小川 真弘・直井 岳人
83. 観光メディアにおける観光案内書の機能からみる横浜の観光対象の変遷 329  
 正木 聡
84. 一人旅の現状とその特性に関する一考察 333  
 吉澤 清良・久保田 美穂子・小林 英俊
85. 観光写真調査法による旅行者の動機測定を試み 337  
 一新しい調査手法の確立に向けて一  
 林 幸史
86. 外国人向け宿泊施設の「情報交換ノート」に見る訪日個人客の 341  
 観光行動と観光地の評価  
 澁谷 鎮明
87. 観光行動の一般的意思決定に関する理論構築に向けて 345  
 一「若者の海外旅行離れ」研究から観光行動の一般理論への展開一  
 高井 典子・中村 哲・西村 幸子
88. 近江商人発祥三地区における観光来訪者の特性と 349  
 観光産業支援施設の役割  
 加藤 勝敏・岩崎 義一・山口 行一
89. ツーリズムの「隠れた次元」 353  
 一「夜のツーリズム」と運転代行業に関する予備的考察一  
 鈴木 晃志郎

90. 観光研究における「主体」を巡る問題系への一考察 原 一樹	357
91. 観光哲学論私考 —観光の「危機」と超学的研究領域の可能性について— 中島 敬介	361
92. 生活における「日本化」の進展が観光に及ぼすグローバルな影響 村上 和夫	365
93. 土産品からみた地域性に関する基礎的研究 米田 誠司	369

### ポスターセッション (2013年5月25日(土)発表)

1. 国内観光旅行が主観的幸福感に与える影響 外山 昌樹	373
2. 郷村観光の推進における中間システムの役割 —中国・大連市普湾新区石河街道石河村東溝屯を事例に— 森重 昌之・張 広帥	375
3. 都市計画道路整備による震災復興と観光への影響 矢野 英昭	377
4. 中国雲南省元陽における観光者にみた観光の変容過程 —バックパッカーからマスツーリストへ— 板垣 武尊	379
5. なんと! 楽しい五箇山合掌造りの里、南砺へ若者を呼ぶプロジェクトの展開 —平成25年度 総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業— 九里 徳泰・田開 寛太郎・尾形 順成	381
全国大会研究発表論文募集要項	383
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	385
全国大会研究発表論文集投稿規程	387